

教育
広報

あきる野の教育

2024(令和6)年11月1日 編集・発行 あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)



10月19日に五日市小学校の周年記念式典が挙行されました。11月1日に多西小学校、11月15日に西秋留小学校で式典が挙行される予定です。

市立小学校が開校から150周年を迎えています

明治5年8月に学制が頒布されたことにより、寺子屋で行われていた教育から、近代的な学校教育がはじまることとなりました。市内でも明治6年以降に現在の小学校の起源となる学び舎が順次設立されました。

昨年度は、東秋留小学校及び増戸小学校が開校150周年を記念した式典等の関連事業を実施しました。今年度は、多西小学校、五日市小学校及び西秋留小学校が同様の事業を実施しています。

多西小学校

開校 明治6年4月1日

草花にある大行寺を仮教場とし、菅生、瀬戸岡、草花、原小宮、平沢の五村による開明学舎として設立しました。

その後、智進尋常高等小学校、多西尋常小学校と校名の改称を経て現在の校名となりました。

五日市小学校

開校 明治6年11月28日

五日市、深沢、入野、館谷の四村による勤能学舎として設立した本校は、五日市憲法草案を起草した第一代校長・千葉卓三郎氏をはじめ、第二回ナイチンゲール記章受賞者の萩原タケ氏が在籍していたことも知られています。

西秋留小学校

開校 明治7年6月5日

引田村に集開学舎を設立し、同年洲上、上代継、下代継、油平、牛沼の五村による集明学舎として設立しました。

その後、集開、集明、雨間学校の3校が統合され共和学校となり、西秋留尋常小学校

